



伊藤宣道会長

全曹青第八期は、前半期を、会則の修正、好聖樹の刊行、会員名簿の作成、講師一覧の発刊と、机上活動に専念致しました。一転し後半期は、体を張った活動を計画し、その第一弾として、十月一日より、全国リレー托鉢を、加盟各単位曹青御協力のもと、敢行致しました。将に言葉面だけではなく、「加盟各単位曹青御協力のもと」と役員一同、衷心より御礼申し上げます。

思えば、この全国リレー托鉢は、とても無謀な計画で有りました。第一に、趣旨の不徹底。当初、この托鉢に関して、執行部が目指したものは三つ有りました。一つは、全曹青の継続事業、関連事業として行なうと云う事で有りました。衆知の如く、全国托鉢運動は、すでに第三期に於て行なわれた研修事業で有ります。今回の全国リレー托鉢は、この全国托鉢運動の継続事業とする為、配付させて戴きました幟旗も、わざわざ当時のものを複製したので有ります。大会場に於て、単発的に、大イベントを行なう事も、全曹青の存在と活動を、社会に訴える手段として、必要な事業で有ると信じます。しかし、全国的に統一され、地元地域にも密着し、経費も少なく、会員自らが主役となり、洞門行持の範疇にあり、しかも、繰り返し、繰り返し、くどい程繰り返す「全曹青と云えば・・・」と言われるような、伝統的継続事業を持つ事も、今後の全曹青の長い歴史の中に必要で有ると考え、托鉢を選んだので有ります。更に、神野前会長が、西野特別

発行所  
全国曹洞宗青年会  
〒105 東京都港区芝  
2-5-2 曹洞宗本願寺内  
発行責任者 伊藤宣道  
TEL.03-454-5411P0

青年僧侶のエネルギーを結集しよう  
社会的価値ある活動をしよう  
青年僧侶の自覚を促そう  
地域における活動の連携を深めよう

事業委員長が心血を注ぎ、全曹青が、その威信をかけ、現代社会に強烈に青年僧侶の存在を認めさせた、一連の奈良博覧会事業の成功を、無駄にしてはならないとの観点から、一歩進めた関連事業として、一極集中ではなく、会員の地元にて、会員と信者との「縁」を結び、曹青活動の理解者を造る事と、それに伴い、地元信徒に、行ずる姿を見せる事により、会員自身の、青年宗侶としての自覚を促す事を目的としたので有ります。

「単位曹青が、毎年恒例で行なっている「布施行」としての歳末助け合い托鉢等を否定するものである」との御意見を頂戴致しました。現代社会に於て「布施行」としての歳末助け合い托鉢も極めて価値ある事だと思えます。全曹青は「社会的価値ある活動をしよう」と云う目標を掲げて居ります。社会福祉事業として、出来るだけ長く継続させ、大いに社会に貢献して戴きたいと思えます。しかしながら、今回は、全曹青の研修事業としての托鉢で有ります。宗祖より洞門歴祖が、滴々相承して来た托鉢は「菩薩行」としての托鉢で有り、決して「布施行」としての托鉢では有りません。喜捨する者と、それを受ける者が「縁」を結び、喜捨する心に、仏性の有る事を論ずる事こそ、洞門行持としての托鉢の根本で有ります。現代社会に即応する事も、青年宗侶として必要で有ります。しかし、社会の風潮に流されて、教学を見

失う事は、絶対に許されない事有ります。奇麗事を並べるようでは有りますが、我々の先輩は、「青年僧だから許される」ではなく、「青年僧だから許されない」と肝に銘じ活動せよ」と教えて下さいました。ごまかし、まやかしが横行する中、せめて全曹青だけは、毅然とした態度で活動すべきで有ると、考えたので有ります。

最後に、浄財の使用目的について。額の多少は別として、托鉢をする以上浄財は集まります。その浄財を、どう使うかについて、私は、本年度総会の所信表明に於て、スリランカ大乗寺院の建設資金に当てたいと、申し上げました。端々に、青年会の道場を持つと云うだけの意味で有れば、日本国内に持つべきです。

### 全国リレー托鉢を終えて

言われ、愕然となりました。私も、同行させて戴いた者の一人として、現地の社会情勢下に於ての、ヴォランティア活動の困難苦勞に接し、及ばずながら、何か御役に立てる事はないかと、思いを巡らす事こそ有れ、研修に来た自分達の待遇等、微塵も考へるものではなく、又その余裕も有りませんでした。ヴォランティア活動に対し、不勉強な私でさえ、ヴォランティア活動に於て、見返りを求めてはいけない事ぐらゐ、理解しているつもりでいました。しかし、そうまであからさまに言われてしまうと、では「曹洞宗ヴォランティア会」とは何ぞや。と云う事になってしまいます。我々は「曹洞宗」と云う三文字の中に、無意識の内に、宗祖への絶対の帰依と、信仰と、宗侶で有る事の誇りを、感じて居るので有ります。曹洞宗ヴォランティア会が、日本政府からも認められた機関で、一宗の教線拡充は思想的侵略であるとして、出来

しかし、敢てスリランカと致しましたのは、ヴォランティア活動を考へて有ります。先回の禅文化学林で、全曹青はタイ・ネパールの仏教を勉強すると共に、ヴォランティア活動の実情を、研修致しました。日本に帰りましてから、現地のヴォランティア会役員の中に、「曹洞宗の坊主は「曹洞宗の人間が来ているのだから、もっと丁寧な扱いをしな」と云う態度が見られた」と云う声の有った事を知らされました。そして「現在、曹洞宗ヴォランティア会は、日本政府からも認められた機関で、色々な団体から、多くの寄付金が、寄せられているんです。その中で、曹洞宗からの寄付金は、微々たるものなのに、曹洞宗の人は、「俺達は曹洞宗だから」と云う態度になってしまふんですよね。《曹洞宗ヴォランティア会》と云う名前は使っていますけど、今は曹洞宗とは、殆んど関係ないんですよ」と

次 目

全国リレー托鉢を終えて…………… 1  
禅文化学林・東北大会・研修…………… 2  
リレー托鉢・全国ソフトボール大会…………… 4  
「禅へのいざない」…………… 5  
尼僧団便り・意識調査報告…………… 6  
…………… 7  
…………… 8

く、敢て「全国リレー托鉢」と致しましたのは、加盟団体が、全曹青の行事として、一斉に日を決めて行なうのではなく北から、あるいは南から、順に受け継がれて来たものを、次に渡す事により、隣接した曹青こととの交流を計り、更に、未加盟団体への啓蒙に役立てようと思つたもので有りました。しかしながら、両祖忌明けより接心前迄と云う、限られた時間内では、どんなにコースを考へても、「六十」と云う団体の数を網羅するには各単位曹青当たり二日と云う、短期間にならざるを得ず、リレーするものを、手渡しどころか、郵送する事すら叶わない状況となり、苦肉の策として、幟旗を全単位曹青に配布させて戴く事となりました。今後、この幟旗が、各単位曹青に於て御活用戴ければ、怪我の功名と存じます。

第三に、予算不足。個人が、あるいは一つの叢林が行なう托鉢で有ればいざ知らず、三十、五十と云う会員が、一個所に集まって行なう托鉢に於ては、集合場所を必要とし、これを提供して戴いた寺院、あるいは特信者には、何らかの御礼は、必要で有ったと思います。評議員会で、これについての御質問が有った時、未加盟を含む六十と云う、又会員数の不揃いな団体すべてに配付するだけの予算がなかった事を御察し戴きたい。

破草鞋  
国際化ということ  
が、こゝ二、三年  
の間にずいぶん言  
われるようになった。  
今までは国際  
化と言っても政府  
間レベルの話で、  
私達一般庶民の中  
では、ほど遠い話で  
ピンと来なかつた。  
ところが最近では  
会社社の研修で海  
外に出かける場所も  
少なくない。一部上  
場のある建設会社  
では、系列を含めた  
全社員約二千人を  
対象に東南アジア  
方面への短期海外  
研修を来春から実施  
するといふ。「これ  
まで国際化といつて  
も私達には関係ない  
という意識があつた  
が、海外研修制度で  
国際化を考へるよう  
になった」とは同  
会社員の話。

「金余りニッポン」のせいだろうか、今や日本人は年間一千万人が海外へ行く時代である。しかしその大半は、歴史や文化や日本とのかかわりを何も知らずとせず、バック旅行の添乗員の後を、ただついて歩いて、免税店でブランド品を山ほど買って、日本へ帰っての感想は「日本が一番いい」これでは国際化とは程遠い。

中東状況が緊迫している中、帰国した日本人「ゲスト」がこう語った。「欧米人は、万一期戦の際の避難方法を検討しており、平和ボケした日本人と、考へずれを感じた」

いくら海外旅行や海外研修の経験を積んでも、フセイン大統領の写真を見て誰の顔か分らない様ではあまりにも日本人として情けない。海外へのあこがれの海外研修でなく、本當の意味での研修をし、身近に国際化を考へた初心を忘れることのない研修を一人でも多くの人に期待してやまない。

全曹青も来春第十回禅文化学林を開催する。キリスト教との接点を求めて、ローマの地で輝かしい研修を取めてほしいものである。

# ヴァチカン研修にむけて

## 第二回

### 聖エジディオ会との交流

#### 群馬県長楽寺住職

#### 峯 岸 正 典

はつらじ

今回の禅文化学林では、修道院というオーソドックスなカトリックの修行道場での研修交流と併せて、聖エジディオ会という若い人たちが構成している団体との交流が、企画されている。

#### 聖エジディオ会の成り立ち

今では世界中至る所に支部があるという聖エジディオ会も、発足当初は、十人の高校生の集まりであった。スタートしたのは、曹洞宗青年会の発足より七年早い昭和四十三年。

先進国の中で、学園紛争が激しかったころ、ゲバルトで荒れ果てた学校と街なみに心痛めた彼らの願いは、みんな聖書に耳を傾け、とりわけそこに書かれてあることを実践に移すことであった。いたんだ校舎と、町うちの掃除からはじめたという

#### 貧しい人々への奉仕

さらに、その活動は、ローマに住む貧しい人々のための奉仕へと進んで行く。最初は、シシリアから移住して来た子供たちのための教育であった。テベレ川添いのなまこ板で作られた糊つたて小屋に住む児童らを、面倒見たことがその端緒である。

#### 聖人エジディオ

彼らのモットーは、彼らの会の名前からほぼつきりしている。その本部のある聖エジディオ教会は、当然のことながら聖者エジディオを祭っている。言い伝えによれば、矢を射られて傷ついた鹿を、狩りうとから身を休して守ったのがエジディオという聖人。あらゆる虐げられた

ものに対する保護者なのである。

聖エジディオ会では、路上生活者への働きかけが熱心。そしてその結果、いくつかの自前の施設を運営している。例えば、老いて誰も面倒の見てのいなくなったお年寄りのための老人ホーム。長年の亮春で脳梅毒になった完全な廃人も、手厚く看護されている。さまざまな事情で親にまかせておけない子供たちのための家。もちろんエイズの子供もいる。エチオピアなどからの政治難民のための救済ハウス。



▲聖エジディオ教会正面

こうした聖エジディオ会の名前と活動が、日本の宗教界に特に良く知られるようになったのは、さほど古い事ではない五年ほど前のことである。

#### アシジでの平和の祈り

昭和六十一年十月二十七日、イタリアの聖地アシジで、ローマ教皇ヨハネ・パウロ二世の呼び掛けによる、世界平和祈りの日が催された。

諸宗教の代表者が、世界中から集い、仏教、ヒンズー教、イスラム教、神道、ジャイナ教、シーク教、ゾロアスター教、アメリカインディアンの民俗宗教、アフリカの伝統宗教、ユダヤ教、イギリス国教会、ロシア正教とカトリック合同で世界平和のための祈願式典が一日がかりで、しかも昼食抜きで挙行された。



▲エジディオ主催・平和の祈り

このときは、不老閑覧下御名代として井上哲也老師が参列されている。そのようすは、第二ヴァチカン公会議以来という各国から集まった七百人の報道陣によって、逐一、全世界に報道された。身近なものでは、朝日新聞編集委員、外村民彦氏の「宗教は核時代に何ができるか、全記録アシジの祈り」(朝日選書二六八)に詳しい。

ヴォランテアの一員として、この祈りを支えた人たちが、聖エジディオ会のメンバーだった。



▲アシジでの仏教法要

#### アシジ体験

アシジでの平和の祈りが与えたインパクトは大きい。世界の諸宗教が平和のために祈るといふ一つの目的で、公的に一カ所に集まったという事実は、一種の感銘を呼び起こした。

#### 平和への祈りと人との出会い

それは、たとえば高校の教科書でしか見たことのないような宗教の代表者が列席していたり、よくわからないけれど、何か怖い感じのする宗教が、実は平和を理念として掲げていることを教えていただいたりするという、参加者全員にとつて、たいへん貴重な経験であった。

それ以上に、宗教の違いが根本的な対立を生むものとなるという、固定観念が溶け去って行くような感動があった。

#### 出合いの持つ意味

紛争の際、関係者が会って、話し合いをし、双方が納得する結論がでない限り、争いは収まらない。

しかし、それ以前に、当事者同士が友人であれば、問題解決への道のりは、より早いはずである。世界中の人々がいさかいを起こす以前に、仲よし、友達同士となるようにすることが世界平和への近道ということ。

友達になるためには、まず出合いがなければならぬ。そして交流の積み重ねが友情の深まりとなるような、交流の積み重ねがなければならぬ。根源的和解への近道は、実は時間のかかる草の根の活動から始まる。

さまざまな宗教的法衣をつけられた方々が、同じ空間を同様の目的のために、共有し、行きかい、なごやかに談笑するアシジでの姿は、新しい希望を回りにいる者たちに植え付けた。



▲老人との交流

#### アシジ以後

そのような体験から、平和の祈りを年々重ねていくこととする動きが出てくるのも当然である。

聖、昭和六十二年、日本で行われた、比叡山宗教サミットも、アシジの精神を受け継ぐ行事であった。アシジで掲げられ、具体化された一つの理念の灯が消えることのないように、その事業の継続を目指し、ローマを本居地として世界的に働きかけているのが、聖エジディオ会なのである。

#### ワルシャワの集い

そのために、聖エジディオ会は、昭和六十二年から「人類と諸宗教の国際的出合い」協会を設立し、自分たちで諸宗教者の国際的な出合いの場を毎年作り出すとしていた。

昨年は、第一次世界大戦が始まって五十年目ということで、ポーランドの首都ワルシャワで大規模な平和の祈りが捧げられた。洞門からは上月照宗永平寺監院老師が曹洞宗代表として参加された。

今年、伊藤道宣会長ほか全曹青役員数名が南イタリアのバリエで行われた平和の祈りに参列し、平和を訴え、各国から参集した約二百名の宗教者との交流を深めている。

聖エジディオ会が、諸宗教者間の対話交流の舞台作りを担うため、黒子に徹し異国の地を訪れた旅慣れない宗教者のエスコートを誠心誠意努めて来たことは、各国の宗教者から、高い評価を受けている。

#### 自由意思でのヴォランテア

#### 生きる糧が祈り

メンバーは少し古い統計によると、約五千人。ちょうど曹洞宗青年会のメンバーとほぼ同じである。年代も似ているが、普通の家庭で普通の生活をしている普通の学生や普通の社会人の集まりなのである。

彼らはまったくの自由意思で、協会の奉仕活動に参加し、報酬を受け取ることのないヴォランテアとして、いやむしろ会のために献金し、仕事や学業の傍らそれぞれの活動に従事している。

#### 自己変革の旅

何れにしても、学ぶ、理解するということは自分が変わるということである。禅文化学林は、本来自己変革の旅でなければならぬ。本当にいいことを聞いたら、それをもって自分が変わろう、変わってもいい、という覚悟がなければ、先方は本当に心を聞いてくれないし、自分も本当の理解に達することができないはずである。

先方のもっているすばらしい宝に、ただだけ触れることが出来るかどうか、それはひとえに求める側の態度に係わってくる。

「大衆教化の接点を求めて」という課題を抱えている私たちは何を学ぶことができるか。実際の研修交流が楽しみである。

# 第15回東北曹青置賜大会

## 置賜曹青会長 越中谷恒道

米沢城下に小雨降る中、十月十三、十四日の両日、市内の東京第一ホテル米沢に於いて「心と心のふれあい」をテーマとし、第十五回曹青青年会東北地方集會「置賜大会」が開催された。

東北管区長（山形県第二宗務所々長）、各主事老師、教区長老師をはじめ、全国曹青青年会会長、東北各県曹青会々員諸兄の御参集を仰ぎ、百十数名が一堂に會し、十三日午後三時より、大会式典が厳修された。會は仏祖風經にはじまり、大会決議文も満場の拍手をもって次の通り採択された。

### 決議文

「メインテーマ「大衆教化の接点を求めて」での東北地方集會は今大会において二巡することとなった。二十世紀最後の十年間我々は新たな目標を掲げ新しい世紀を迎えなければならぬ。その様な認識の下に今後の進むべき方向を考へる一助になるものと、「心と心のふれあい」をテーマに今置賜大会を開催した。世紀末の大きなうねりの中で、権威主義・事

大主義にとられない「今を生きる」我々の若い力は、先度他のもにより一層ふり向けられなければならない。いまここに東北地区曹青青年会連絡協議会の更なる発展を期し、仏祖正伝の仏法の教えを布める地道な活動を展開することを誓い本大会の決議文とする。以上の内容にて今大会は二つの記念講演が企画された。講師田宮仁氏による「ビハラー（仏教ホスピス）「いのちの安らぎ」」尊き生命末期医療患者への望まれる介護。講師吉岡たすく氏による「親と子の対話」お母さん、

子供のころが見えますか？と題した以上二つの講演が行なわれ、各層にわたる延四百名近い聴衆を得、二日間に亘る講演は終了した。尚次期開催は岩手県と決定し、絡子伝達が行なわれた。

今大会はテーマに沿った企画ではあったが、振り返ると各人の自己研鑽に基づき、ディスカッションがあっても良かった様に思う。



第15回曹青青年会東北地方集會 置賜大会

## 研修 第八回 吉岡博道

### 宗門の書 “筆痕”

今回は少し趣向をかえて禅僧がよくもにすする円相をとりあげる。第五回の円山下の項で少し触れたことがあるのでもう一度、読み直して頂きたい。

円相という禅宗の中でも臨済宗の坊さんが得意としていた分野と思えば江戸期このかた現在に至るまで円相をいっているのである。私が偶目した中でも桃水雲溪、徳翁良高、無得良悟、大忍国仙、関山道察、雲臥元淳、本応素寂、風外本高、それに今回紹介の明庵哲了と沢山ある。その他、まだまだ出てくることと思う。決して臨済宗の坊さんの特許作品ではない。私達、誰れでもものにする事ができるのである。

ばよい。たった一つの円輪を力強く毛筆をもって書いた特殊な禅画である。こうした円相は画というには余りに単純で無技巧で抽象的すぎるといえよう。しかしその度外れている形象の中に禅の働きが無限に発散されているのである。

わずかに一筆をもって一気呵成、意のおもむくままに描かれた円輪にすぎないが、そこには自らなる雄渾な運筆の流れがあり、墨色のかすかな濃淡がにじみ、形相の思いがけないゆがみがあり、言ひようのない特異な美的感興がわいてくる思いがする。

汲めども尽きぬ味わいの深さ、この円相こそ禅の悟り、禅心、禅境のよき象徴といふべきであらう。そしてこの一つの円相の中に私達の「本来の面目」、「無心」がなければならぬのである。

更に重要なことはこの円相には必ず何かの讃語、賛、著語が書き添えられているのがふつうである。（時には何の賛もない円相も出てくるが）例えば「吾が心、秋月に似たり」「これ食うてお茶まいれ」「いろはにはほへと」「みるや又いなや」等々である。

書き方も左上から右まわりのものと、左下から逆まわりのとがあるが別に書き方にルールはないようである。



明庵哲了書（正泉寺蔵）

さて第一番目に紹介するのは明庵哲了の円相である。二十数年前、京都の書画屋で見つけ、このいびつな、そして豪快

な円相は済家であろうが、価格が安かったので即座に求めた。帰宅して初めて明庵が宗門人であることを知った次第。

明庵哲了（一七〇五—一七七九）は宝永二年生れ。遠州周智郡にて父は田中氏、母は土田氏。幼年にして母を失い、世の無常を感じて出家し、同州安楽寺真禪和尚に師事。その後、諸方徧参に出て、信州宝寿山に上り、太梅法瑛の墟輪に入り、遂にその堂奥を許されし、安永八年入寂。付法の弟子は二十七人。明庵了禪師語録が一巻ある。太梅法瑛という宗門一代の禪者に徹底、鍛えられた明庵は筆痕を得意とした師匠に劣らず、書を残している。この円相は実に豪気である。いびつであらうとなかろうと明庵は一気にもっていった。賛は「物の比倫に堪うることなし」寒山詩の一句で、正にこの円相にびつたり賛語である。

次は永平寺丹羽廉芳禪師の円相である。丹羽禪師は歴代の永平寺住職、特に明治以降の臥雲、環溪、雪鴻、悟由、黙仙、元峰、慧昭、天山、泰禪、慧玉と筆痕を多く残された方々と並んで遜色なく、実

に多くの書を僧俗に書き与えられている。大字あり、一行書あり、よこものあり、小品あり。この円相はまず左側下から入り、一気自由力強く、のびのびと書かれている。賛は「寿雲」である。墨汁がしつとりと紙にくいこむ程の迫力に禪師の気概が感じられる。



丹羽廉芳禪師書（正泉寺蔵）

最後の円相は四国、瑞応寺僧堂の橋崎一光老師である。夙に能筆をうたわれ、その綿密で鋭敏、しかも伊子温暖の家風をもって現在、永平、総持両僧堂に次いで雲水が参集するのも当然のことである。この円相は左側上から筆が入っている。墨氣に精彩を放ち、気合いにみちた鋭さ、そして穂先きが分かれ、適当な恬淡さが味わえる。賛も丁寧にかかれ、「十方智者皆な此の宗に入る」実に重厚なものと讃仰する。

（文中敬称略）



橋崎一光老師書（正泉寺蔵）

前号（六十九号）の「研修」の第六回は第七回の誤りです。ここに訂正しお詫び致します。

## “彫刻のことならなんでも”

ホリモノ

ムナ

カタ

注文仏像・唐木仏具

大木魚・大鑿子



### 株式会社

# 宗像商会

一本手打一枚製鑿子好評発売中

本店 東京都東村山市富士見町3丁目2番17号 〒198  
 盛岡支店 岩手県盛岡市みたけ5丁目10番48号 〒020-01  
 函館支店 北海道函館市亀田町19-18号 〒040  
 松山支店 愛媛県松山市和泉北1丁目5番20号 〒790

TEL (0423) 95-8505 (代表)  
 TEL (0196) 41-3955 (代表)  
 TEL (0138) 43-8550  
 TEL (0899) 47-2013

本当の一枚の材料からたたき上げた鑿子です。溶接品とは音質が違います。まずはお問合せ下さい。

# 全国リレー托鉢円成!

(写真は、切日到着分)



▲山形



▶北海道



▲青森



▲新潟



▲岩手



▶福島



▲宮城



▶静岡第四



▶静岡第一中部



▶群馬



▶愛知第二



▶静岡第三



▶静岡第一志太

心にやすらぎを……

**四字禅語**

「四字禅語」全国曹洞宗青年会著  
B6判 定価1300円(税込)

**曹洞宗のしきたりと心得**

天龍寺

「曹洞宗のしきたりと心得」全国曹洞宗青年会監修  
B6判 定価1100円(税込)

●五〇冊以上ご注文の方には名人入れをサービス致します。詳細は弊社事業企画室へ直接お問い合わせください。

「カセットブック・曹洞宗」  
全国曹洞宗青年会著 新書判 定価1500円(税込)

〒162 東京都新宿区弁天町43 電話 03-267-6821 事業企画室(直通)  
**株池田書店** Fax. 03-235-6672 電話 03-267-6824  
振替 東京 2-60072 Fax. 03-235-6672



▲開会式

# 全曹青主催 全国ソフトボール大会 東京ドームにて 開催!!

さる十月三十一日に全国ソフトボール大会が東京ドームで開催された。参加したのは全国より二十チーム、二百五十余名の会員であった。午前十時、東京ドームに仏旗が掲揚され、伊藤道宣会長の挨拶があり村田和彦事業研修委員長のルール説明の後、熱戦の幕が切られておとされた。ドーム側の要請により、一度に二試合しか出来ない為、試合方法はリンク方式で、一チーム二試合を行い、一試合時間は三十分で終了し、得失点差で優勝を決めるものであった。

この日の為にユニフォームを新調したチーム、朝早くから東京ドームの前で待っていたチーム、飛行機で、夜行で、貸切りバスで、遠路はるばる来たチーム。それぞれに曹青の特色を生かし、笑いと拍手があふれる試合内容であった。旧交を暖め合う者、記念写真を撮る者、人工芝にねころぶ者、どのチームも、どの顔も満足でいっぱいであった。日頃の運動不足がたたって足がもつれる場面もあったが、大過なく無事終了したことは関係者をほっとさせた。



▲熱戦

試合の方は、得点二十五、失点一のプラス二十四で静岡第四曹青(サンガース)チームが優勝。準優勝はプラス十七点で山梨曹青チーム。三位は山形曹青チーム。以下は下記の表の通りであった。夕方四時、成績発表で喜ぶ静岡第四曹青の笑顔の中、伊藤道宣会長より優勝賞品が渡され、仏旗が降納されて、全国ソフトボール大会はその幕を閉じた。別れを惜しむ各会員の顔には、来年も是非との期待が強かったことを明記したい。

| チーム      | 得点 | 失点 | 得失差 |
|----------|----|----|-----|
| 1 静岡第4   | 25 | 1  | +24 |
| 2 山梨     | 22 | 5  | +17 |
| 3 山形     | 20 | 6  | +14 |
| 4 岐阜     | 17 | 4  | +13 |
| 5 北海道第2  | 17 | 8  | +9  |
| 6 新潟B    | 13 | 7  | +6  |
| 7 群馬     | 12 | 8  | +4  |
| 7 九州・いずも | 20 | 16 | +4  |
| 7 宮城     | 15 | 11 | +4  |
| 10 千葉    | 12 | 11 | +1  |
| 11 福岡    | 9  | 9  | 0   |
| 12 静岡第3  | 8  | 9  | -1  |
| 13 京都    | 8  | 11 | -3  |
| 14 三重    | 9  | 13 | -4  |
| 15 静岡志太  | 7  | 12 | -5  |



▲優勝した静岡第4曹青

| チーム       | 得点 | 失点 | 得失差 |
|-----------|----|----|-----|
| 16 愛知第3・A | 6  | 16 | -10 |
| 16 愛知第3・B | 10 | 20 | -10 |
| 18 新潟A    | 5  | 18 | -13 |
| 19 神奈川第1  | 2  | 24 | -22 |
| 20 愛知第1   | 5  | 33 | -28 |



▲近畿



▲岐阜



▲いずも



▲愛知第一



福岡



▲鹿児島



▼熊本



▲宮崎



▲愛知第三

修証義

5冊税込 ¥5,000

10冊税込 ¥11,000

## 法要の際にご本堂などで

曹洞宗日課経大全

100冊未満 1冊につき ¥500

100冊以上の場合 ¥480

修証義ミニ本

100冊以上 1冊につき ¥80

500冊以上 巻末紙に寺院名を明記が出来ます

妙法蓮華経

- 安楽品
- 方便品
- 持世品
- 普門品

別紙全巻仕上げ表紙(3冊セット) ¥7,000

洋紙(きりもみ)仕上げ表紙(3冊セット) ¥5,000

(※各冊品もあります。※料金は別紙の組合せも出来ます。)

●お申し込みは (株)タイキ 〒538 大阪市鶴見区今津中3丁目9番6号  
TEL (06) 969-7191 FAX (06) 969-7194

# 『禅へのいざない』 (全4巻)

## 全国曹洞宗青年会編

### 平成3年2月発行に向けて!

特別委員会出版係 佐藤悦成

前号で内容を概略紹介いたしました。今号でも重ねてお知らせいたします。まず最初にお詫びを申し上げます。ならないのですが、前号にて、十一月刊行予定とお知らせいたしました。少々遅れており、刊行は来年(平成三年)の二月頃にずれ込みそうです。既に御注文いただいた方も、ご迷惑をおかけいたしておりますが、どうか今しばらくの御猶予をいただけますようお願い申し上げます。

さて曹洞宗青年会から、『禅文化講座』と銘打って出版物を随時刊行していくことにいたしました。第一弾として曹洞宗青年会編『禅へのいざない』(全四巻)を、仏教書版元の老舗・大東出版社より刊行いたします。

本書は、禅の思想と歴史をわかりやすく叙述し、現在布教の第一線に立つ活躍している宗門青年宗侶が、日常の布教活動において必要とする、基礎知識を提供することをその主目的とし、併せて宗門檀信徒及び禅に興味を持つ一般の読者に対して、禅の基礎知識を提供することをめざすものです。しかも平易な内容ではあります。大学の教材としても耐えられる水準が維持されています。

とくに留意した点は、巻に溢れる『禅』や『曹洞宗』についての書物の中には、誤解を招くような記述に接することがままありますが、そうした誤解を取り除き、正しい知識を伝えようとした点です。

また、一般の読者を対象とした(講座)や(叢書)もいくつもありますが、それは禅についての知識が盛り込まれていないにすぎない場合が多く、宗門人にとっては切実な問題である、現代社会の中で禅が如何に関わりあっているか、といった視点は、等閑にされているくらいがあります。

そこで、『禅へのいざない』では、「現代社会と禅」のテーマを一冊もつけ、激動する現代社会において、禅仏教の可能性、宗門人としての展望を考える一助といたしました。

とくに、今日世界的に論議が沸騰している環境問題、あるいは日本では未だ正否未定の脳死・臓器移植問題、さらには

末期医療等の問題についても、仏教界として何等かの意見を提示することが望まれています。これらの問題について、道元禅師の自然観や生命観等を手掛かりにして考察してもらっています。

本書は我々と同世代の新進気鋭の研究者が執筆しています。駒沢大学・愛知学院大学出身の宗門の若手研究者を中心に、若千名、臨済宗・浄土宗等の宗門外の研究者の協力を得ました。

本書が、我々青年会の手によって完成することは、すこぶる意義深いものと確信いたします。宗門僧侶の日常の布教活動の更なる発展に寄与することを念願して止みません。

#### 第一巻 インド仏教と禪定

\* 仏教以前の宗教と思想 (島 岩、愛知学院大学)

\* 仏教興起の時代背景 (岩松浅夫、東方学院)

\* 釈尊の生涯とその思想 (池田練太郎、駒沢大学)

\* 仏教思想の発展と教団の成立 (鈴木紀裕、愛知高校)

\* 南方上座部仏教 (青木宗弘、愛知県・弘禅寺)

\* チベット仏教 (西岡祖秀、四天王寺国際仏教大学)

第二巻 中国仏教と禪

\* 仏教の伝播 (大松博典、専修大学北上高校)

\* 禪の伝来 (佐々木章格、駒沢大学)

\* 唐朝禪の展開 (佐藤秀孝、駒沢大学)

\* 宋朝禪の繁栄 (中尾良信、花園大学)

\* 禪と浄土思想 (落合俊典、華頂短期大学)

\* 中国仏教の現状 (中條道昭、駒沢大学)

第三巻 日本仏教と禪

\* 鎌倉仏教の成立と禪 (佐藤悦成、愛知学院短期大学)

\* 曹洞宗の禪 (道元禪)

\* 瑠山禪 (石井清純、駒沢大学)

\* 江戸期宗学 (鈴木祐孝、山形女子短期大学)

\* 寺院制度の整備と宗学発展 (志部憲一、曹洞宗宗学研究所)

\* 臨済宗の禪 (長谷川昌弘、正眼短期大学)

\* 黄檗宗の禪 (岡本貞雄、正眼短期大学)

\* 禪と古典文学—説話文学を中心に— (久保田実、駒沢大学高校)

第四巻 現代社会と禪

\* 現代社会と禪 (岡島秀隆、愛知学院大学)

\* 葬送儀礼と禪 (成河峰雄、愛知学院短期大学)

\* 宗教の東西交流 (桐田清秀、花園大学)

\* アメリカ・ヨーロッパにおける禪 (木村登次、東海女子短期大学)

\* 現代宗教の諸形態 (竹内堅丈、愛知学院大学研究生)

\* 文学作品に記された禪 (木村誠治、曹洞宗教化研究所)

\* 曹洞宗典籍・仏教書の概説 (伊藤道宣、曹洞宗青年会会長)

佐藤悦成、愛知学院短期大学

B六判・並製・四巻セット箱入  
各巻平均二二〇頁程度  
定価一〇、〇〇〇円(本体九、七〇九円)

四巻セット一括発売(分売はしません)  
大東出版社発行(〒一三三 東京都文京区白山一―三七―一〇 電話〇三―八一六―七六〇七)

\* 本書を曹洞通信会員価格九、〇〇〇円(送料別四〇〇円)にて頒布いたしております。詳しくは紙面下記の広告を御覧ください。

本書についてのお問い合わせは、大東出版社営業部までご連絡ください。

いよいよ待望の刊行!  
『禅へのいざない』  
へ 禅文化講座

全四巻

曹洞宗青年会が綿密に企画し、禅の歴史と思想を分かりやすく解説布教活動の貴重なハンドブック!!

- 第一巻 インド仏教と禪定
- 第二巻 中国仏教と禪
- 第三巻 日本仏教と禪
- 第四巻 現代社会と禪

曹洞宗青年会 編  
B六判 並製函入  
各巻平均二二〇頁  
定価一〇、〇〇〇円  
(分売致しません)

「禅へのいざない」曹青会会員価格のお知らせ  
専用振替用紙で前金の御注文の場合に限り1セット9,000円にて頒布致します。振替用紙は大東出版社まで御請求下さい。  
振替口座 名古屋 3-53719 曹洞宗青年会出版部  
尚その際、荷造費・送料として1回のお申し込みにつき、1律400円申し受けます。本広告掲載の他の書籍と一緒に御注文いただいても、送料合計は400円です。

- ◎現代語訳で読む
  - 宝慶記 池田魯参著・四六判・310頁・2,800円
  - 学道用心集 篠原壽雄著・四六判・308頁・2,800円
  - 正法眼蔵随聞記 篠原壽雄著・四六判・454頁・2,900円
  - 永平大清規 篠原壽雄著・A5判・455頁・5,974円
  - 天台小止観 関口真大著・B6判・138頁・1,009円
- ◎読書で座禅をする
  - 詩と禪 小倉玄照著・B6判・224頁・1,236円
  - 禪院おりおり 小倉玄照著・四六判・277頁・1,751円
- ◎敦煌に学ぶ
  - 敦煌仏典と禪(講座敦煌第8巻) 篠原壽雄、田中良昭編・A5判・466頁・7,800円
  - 敦煌禅宗文献の研究 田中良昭著・A5判・724頁・16,377円
- ◎学術叢書禅仏教(A5判)
  - 監修/古田紹欽/鏡島元隆/柳田聖山/鎌田茂雄
  - 唐五代の禅宗 鈴木哲雄著・428頁・7,725円
  - 道元禅師とその周辺 鏡島元隆著・370頁・7,210円
  - 華嚴禅の思想的研究 吉津宜英著・386頁・7,210円
  - 摩訶止観研究序説 池田魯参著・376頁・8,755円
  - 宋代禅宗史の研究 石井修造著・610頁・13,390円
  - 中国中世仏教史研究 諏訪義純著・326頁・8,240円
  - 日本禅宗史の諸問題 古田紹欽著・306頁・8,240円

表示の価格は全て税込

目録呈

株式会社 大東出版社  
〒113 東京都文京区白山一―三七―一〇  
TEL(03)3711-1111 FAX(03)3711-1118

# 尼僧團便り

## 修道女が尼僧堂で参禅

### — 第四回東西霊性交交流 —

カトリックが「諸宗教との対話」という姿勢を打ち出して十数年になる。中でも東西霊性交交流という形で、ヨーロッパ・カトリックと日本の禅との交流は、非常に熱心に積極的に進められ、昭和五十三年に第一回東西霊性交交流が行われてより大抵四年毎に、東西交互に交流の場が持たれ、次第に深みを増しながら続けられて今日に至った。

この度実施されたのは、平成二年十月十日より十一月十日までの一ヶ月間で、フランス・イギリス・ベルギー・オランダ・イタリア・スペイン（ドイツは来春に来る）の各国より僧・尼二十名が来日し、主として臨済宗の各僧堂で僧堂生活を体験した。一ヶ月のうち八つの僧堂に分かれての禅体験は、十月十七日より同三十一日までの二週間であったが、二十名の来日者のうち六名の修道女のみが、臨済宗に尼僧堂がないため、曹洞宗の愛知専門尼僧堂が受け入れ側となった。

尼僧堂で受け入れた修道女は、左の六名である。

|             |      |     |
|-------------|------|-----|
| エリザベート・ネリヤン | オランダ | 七五才 |
| マリイ・ブルノ・コラン | ベルギー | 四七才 |
| マリイ・テ・グロート  | ベルギー | 六二才 |
| ルネ・ヴァンロンベイ  | ベルギー | 六一才 |
| クレール・ブルベス   | フランス | 四六才 |
| マリイ・パロン     | フランス | 六二才 |

フランス語圏と英語圏の修道女を迎えるに当たり、尼僧堂側としては、まず、過去二度にわたって青山堂長の訪欧のさ

いの通訳を勤め、東西霊性交交流の内容にも精通しているベナージュ・大門師（日本に四半世紀にわたって滞在し、愛知専門尼僧堂の卒業生でもあり、今年八月アメリカへ帰国）をアメリカより特請し、更に特別尼僧堂在籍中のソオザ・孤円尼（ブラジル）を助手役に配し、又、具体的生活の上では、膝を曲げることの少ないヨーロッパの人々の心くばりとして、それぞれの部屋へは特に椅子式の机を入れたり、毎日必ず行わねばならないミサのために、南山大学の宗教研究所所長のヤン・バン・ブラフト神父をお願いするなど、きめこまかな配慮がなされた。

日本における禅の叢林生活の一日の行持は、「三時の勤行、四時の坐禅」という言葉でよく表現されるが、カトリックの修道院生活の日常もこれに類似しており、又、禅の清規とベネディクトの戒律が比較研究されるように、両者の修行のありようにも共通点が多いため、初めよりお互いに異和感はなく、何十年来の知己のように溶けあつての生活ができた。

ただし違うところとして、日本の僧堂は、いわば僧侶の養成機関であつて、カトリックでいえば神学校に当たるため、修行しつつ生涯をそこで過ごす生活の場でもあるカトリックの修道院に当たる各寺院での生活も参考にしていただこうというので、一日、尼僧堂の近くの妙元寺（野沢和光住職）へ案内した。

尼僧の場合は、僧堂生活も各個人の寺での生活も、変りない姿で生涯修道生活が続けられるため、カトリックの修道女にとつても親しいあり方として受け止められたようである。

二週間滞在日程の中には、三日間の無言接心も加わつたが、修道女達はよくがんばって終始真剣に参禅された。日本食、特に僧堂での粥飯に馴れない修道女への思いやりから、ときどきパン食が用意されたり、接心中の僧堂行茶にも紅茶が出され、聖僧様（僧堂の本尊である文殊菩薩）に紅茶が供えられたのは、尼僧堂開闢以来初めてのことであろうと語りあつたことである。



▲接心



▲料理をつくる修道女

毎朝八時より講堂で行われるミサにも二度だけ雲水も参加させていただき、ブラフト神父さまに特別にお願ひして、日本語の解説をいれながらミサを進めていただくなどして、雲水達のキリスト教への理解をはかった。

秋たけなわのしずかな尼僧堂での半月間の滞在最後の二日間は、読売テレビによる取材のお相手でも少々忙がしかつたが、三十日夜の歓送会は、逆に修道女達の真心の手料理によって、此方側がねぎらわれ、御馳走になり、出会いと別れの、悲喜こもごもの思いをかわしあつた。

より至高なるものに向かつて命をかけて生きようとするお互が、こうして一堂に会し得た縁の不思議をよるこびあい、遠く離れても、この道を歩むかぎり一つの道を歩む姉妹であることをたしかめあい、尽きぬ名残りに涙しながら、修道女六名は翌三十一日、尼僧堂を乞取し、京都へ向かわれた。

第一回（昭和五十三年）と第三回（昭和六十二年）の二度にわたつて、各一ヶ月、東西霊性交交流の代表の一員としてヨーロッパをお訪ねする機会を得、修道院生活も体験させていただき、又、第三回のときは二人のシスターをこの尼僧堂へお迎えしてありますので、この度第四回目、六名のシスターをお迎えするの、姉妹をお迎えするような思いであります。

この間、つねに私は三つのことを信念として、又は自戒として自らに云いきかせて参りました。

その一つは「真理は一つ、切り口の違いで争わぬ」ということです。たとえばここに円筒形の茶筒があると致します。この茶筒を横に切れば切り口は丸くなり、縦に切れば矩形になり、斜めに切れば楕円になります。しかし茶筒そのものはたった一つ、変わりのあるうはずありません。たった一つの真理を、ヨーロッパの切り口ではキリスト教となり、東洋的切り口では仏教となり、又、それ

洋の東西を超え、時の古今を超えて変らないものこそ真理と呼ぶべきものでしょう。人間同志が約束の上で作つたものはココロと変りますが、人間の恩恵とは無縁の世界で、厳然と行われているものをこそ真理と呼ぶべきでしょう。

その一つの真理を見つけた教祖の性格や生い立ちや、その教祖を育てた民族や自然環境や時代の影響で、さまざまに異なつた名前や性格や姿が、人間の側のメカネによって付与せられただけのことと、本来のものに変わりのあるうはずがないと思つています。

立花隆氏はその著「宇宙からの帰還」の中で、氏の「内面的に宇宙から得た最大のものは？」の質問に答えての宇宙飛行士たちの次の言葉を紹介しております。ジョン・サナンは、「神の存在の認識だ。神の名は宗教によってちがう。キリスト教、イスラム教、仏教、神道、みなちがう名前を神にあてている、しかし名前がどうであれ、それが指し示してい

## 真理は一つ 切り口の違いで争わぬ (上)

— 修道女への講義より —

青山俊董

その民族や自然環境や文化の切り口によって、違った姿となつて現れたに過ぎないと信じております。真理がいくつもあつては困ります。真理の名のもとで争う。そんな馬鹿なことがあつてはならない。それは真理でも何でもなく、法我見に過ぎないと思つています。

「真理」という言葉と同じ意味を持つ言葉に、「法」という言葉があります。「法」という文字は「シ」—サンズイー—to「去」という文字で構成されております。つまり水が流れていくさまをもつて象徴された言葉です。水は何時の時代も、どこかの国にあつても、引力のある地球上にある限り、高い方から低い方へ向かつて流れます。昔は低い方から高い方へ、あるいはヨーロッパでは低い方から高い方へ流れる、そんなことはありません。

あるある同一の至高の存在がある。それが存在するということだ。宗教はすべて人間が作つた。だから神にちがう名前がつけられた。名前はちがうが、対象は同じなのだ」と語り、ジェリー・カーも、「アラームブツも、同じ神を別の目が見たときにつけられた名前にすぎないと思つた」

そしてこの「宇宙からの帰還」を書いた立花隆氏は、「神々の邂逅」の章で、「宇宙飛行士たちの宇宙における認識拡張体験の話を取り返し聞いてみるうちに、私は宇宙飛行士とは、「神の眼」を持つた人間なのだということに思いあつたと述懐していることは、大変興味深いことです。

### 墓石 記念碑

## 石のヒウガ

# (有)平賀石材工業所

静岡県経済連指定  
造園・資材・灯籠  
建築石材張石工事



本店工場 静岡県磐田郡佐久間町川合922 ☎(0539)65-1232代 FAX(0539)65-0921

浜北営業所 浜北市於呂1377の5 ☎(05358)8-7503  
豊川インター支店 豊川市麻生田町中通り44の4 ☎(05338)4-7854  
袋井インター支店 袋井市山科3256-1 ☎(0538)43-0510

豊橋支店 豊橋市羽根井西町12の13 ☎(0532)32-5730  
静岡ベトナム園 静岡市平沢山王50番地 ☎(054)263-7161

# 昭和62年度全国曹洞宗青年会意識調査一報告

4. 満年齢別 \* 44. 合掌礼拝運動について

|        | 標本数           | 大いに行う       | 行くべきだ       | どちらでも       | あまり行わない   | 必要はない     | 無回答       |
|--------|---------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|-----------|
| 全 体    | 100.0<br>1193 | 31.6<br>377 | 43.3<br>516 | 15.6<br>186 | 4.9<br>58 | 1.1<br>13 | 3.6<br>43 |
| 20～24歳 | 100.0<br>40   | 30.0<br>12  | 32.5<br>13  | 32.5<br>13  | 2.5<br>1  | -         | 2.5<br>1  |
| 25～29歳 | 100.0<br>160  | 26.9<br>43  | 48.8<br>78  | 16.3<br>26  | 5.6<br>9  | 1.3<br>2  | 1.3<br>2  |
| 30～34歳 | 100.0<br>236  | 27.5<br>65  | 46.6<br>110 | 16.5<br>39  | 5.5<br>13 | 0.8<br>2  | 3.0<br>7  |
| 35～39歳 | 100.0<br>336  | 30.1<br>101 | 42.0<br>141 | 17.6<br>59  | 5.7<br>19 | 0.6<br>2  | 4.2<br>14 |
| 40歳以上  | 100.0<br>408  | 37.0<br>151 | 41.7<br>170 | 11.3<br>46  | 3.9<br>16 | 1.5<br>6  | 4.7<br>19 |

4. 満年齢別 \* 43. 現在の宗門行政について

|        | 標本数           | 大いに満足     | やや満足       | どちらでも       | やや不満        | 大いに不満       | 無回答       |
|--------|---------------|-----------|------------|-------------|-------------|-------------|-----------|
| 全 体    | 100.0<br>1193 | 1.1<br>13 | 9.1<br>109 | 30.1<br>359 | 31.9<br>380 | 24.4<br>291 | 3.4<br>41 |
| 20～24歳 | 100.0<br>40   | -         | 7.5<br>3   | 52.5<br>21  | 27.5<br>11  | 10.0<br>4   | 2.5<br>1  |
| 25～29歳 | 100.0<br>160  | 1.9<br>3  | 7.5<br>12  | 46.9<br>75  | 26.9<br>43  | 15.6<br>25  | 1.3<br>2  |
| 30～34歳 | 100.0<br>236  | 0.8<br>2  | 6.4<br>15  | 30.9<br>73  | 37.3<br>88  | 21.2<br>50  | 3.4<br>8  |
| 35～39歳 | 100.0<br>336  | 0.6<br>2  | 9.8<br>33  | 28.6<br>96  | 32.4<br>109 | 25.6<br>86  | 3.0<br>10 |
| 40歳以上  | 100.0<br>408  | 1.5<br>6  | 10.8<br>44 | 22.5<br>92  | 30.1<br>123 | 30.1<br>123 | 4.9<br>20 |

4. 満年齢別 \* 42. 壇家との関係の見直しは必要か

|        | 標本数           | 大いにある       | ややある        | どちらでも       | あまりない       | 必要はない     | 無回答       |
|--------|---------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-----------|-----------|
| 全 体    | 100.0<br>1193 | 31.7<br>378 | 36.3<br>433 | 11.0<br>131 | 15.1<br>180 | 2.3<br>28 | 3.6<br>43 |
| 20～24歳 | 100.0<br>40   | 35.0<br>14  | 32.5<br>13  | 12.5<br>5   | 17.5<br>7   | -         | 2.5<br>1  |
| 25～29歳 | 100.0<br>160  | 33.1<br>53  | 33.8<br>54  | 15.0<br>24  | 13.8<br>22  | 2.5<br>4  | 1.9<br>3  |
| 30～34歳 | 100.0<br>236  | 31.4<br>74  | 39.0<br>92  | 10.6<br>25  | 14.8<br>35  | 0.8<br>2  | 3.4<br>8  |
| 35～39歳 | 100.0<br>336  | 30.4<br>102 | 39.9<br>134 | 8.9<br>30   | 14.9<br>50  | 2.7<br>9  | 3.3<br>11 |
| 40歳以上  | 100.0<br>408  | 31.9<br>130 | 33.3<br>136 | 11.0<br>45  | 15.9<br>65  | 2.9<br>12 | 4.9<br>20 |

## 曹洞宗の源流をたずねてシリーズ 中国天童寺参拝 90年12月～91年3月

### Aコース 天童寺参拝と江西・雲居山と廬山、景德鎮

●百丈清規を今に伝える雲居山真如禪寺  
江湖会発祥の馬祖・石頭禪師の宝峰寺参拝

【日程】上海/天童寺参拝/杭州, 浄慈寺, 西湖, 靈隠寺/南昌, 真如寺, 宝峰寺/天下の名山廬山/景德鎮/帰国

### Bコース 天童寺参拝と広東・曹溪山と桂林、広州

●六祖慧能禪師の六和靈照塔にぬかずく感動の南華寺参拝と智業三蔵葦舟漂着地広州・光孝寺参拝

【日程】上海/天童寺参拝/杭州, 浄慈寺, 西湖/広州, 六祖真身像の六榕寺, 光孝寺/韶関, 南華寺, 曹溪十二景/桂林/帰国

### Cコース 天童寺参拝と江西省仏教寺院めぐり

●洞山・青原山・百丈山の響もなつかしい参拝と研修三昧の旅

【日程】上海/天童寺参拝/杭州, 浄慈寺, 西湖, 靈隠寺/南昌, 真如寺, 宝峰寺/青原山浄居寺/洞山普利院/百丈山大宝勝輪院/帰国

全コース 東京・大阪発着/日程・宿泊施設・内容等中国の専門旅行社として  
厳選し、精通した添乗員が同行お世話致します。

お問い合わせは

主催  
アショカツアース(株)ピーエス観光

大阪(06)444-2221 東京(03)-563-2691  
担当・提, 新木 名古屋(052)261-8381

お気軽にご相談下さい。